

議員提出議案

9月定例会では、議員から次の議案(意見書)が提出され、原案のとおり可決しました。なお、意見書は、埼玉県等へ提出しました。

◆発達障害児に対する現行制度の見直しを求める意見書(抜粋)

発達障害児(者)に対しては、幼児期から学齢期、就労まで一貫した支援策が必要です。最近の研究では乳幼児期の療育こそがその後の人生により望ましい影響を及ぼすと言われています。

発達障害児は、身体障害のように目に見えてはつきりと判別できるものではありません。

そのため保育園から親に医療機関へ行くように促すことや、親の承認が必要となる診断書の取得に非常に困難を来しています。

また、発達障害は早期発見によって必要な支援を行うことこそ重要であり、発見が就学前では遅きに失すと考えます。早期診断のシステムの確立が望まれます。

こうした点から、発達障害児に対する保育現場の実情をご理解頂きますまして現行制度を見直して頂きますよう強く要望致します。

よって、埼玉県におかれては、次の項目を早急に実施するよう強

く要請します。

1. 保育園へ定期的に専門の相談員(医師や臨床心理士等)が巡回できるように必要な措置を講じると共に、親に適切な助言ができる仕組みを創設すること。
2. 現在5歳児健診を行っている自治体であれば、その段階でスクリーニングにかけると言われていますが、早期発見、早期支援のために3歳児健診をより精度の高いものにし、この時点での早期診断のシステムの確立が行われるよう必要な措置を講じること。

12月定例会の予定

11月29日(月)	10:00～	明疑問決
11月30日(火)	10:00～	案質問決
12月14日(火)	9:30～	議案一般質問
12月15日(水)	9:30～	議案一般質問
12月16日(木)	9:30～	議案一般質問
12月20日(月)	10:00～	議案採決

※本会議の日程は、議事の都合により変更になることがあります。

議会閉会中のイベント

議員研修会

8月18日、市役所会議室において、日本経営協会専任講師である元全国市議会議長会事務局調査広報部長加藤幸雄氏を講師に招き、「議会基本条例の制定について」をテーマに議員研修会を議会基本条例等調査特別委員会との共催により実施しました。

講師からは、議会の役割や議会改革の背景、分権時代に求められる議会改革や議会基本条例の事例などについて講演いただきました。

常任委員会

9月定例会で閉会中の継続審査とした『平成21年度本市一般会計歳入歳出決算認定について』ほか11件の決算認定議案について、10月25日及び26日に総務委員会と建設産業委員会、10月27日及び28日に厚生文教委員会を開催し審査しました。

審査結果については、12月定例会本会議において各委員長から報告され、最終的な審議がなされる予定です。

先進地の行政視察

左記の常任委員会は、それぞれの行政課題について調査研究のため、また、議会基本条例等調査特別委員会は、先進地の調査研究のため、行政視察を次のとおり(期日・調査事項・視察先)行いました。

視察後、総務委員会は、9月定例会に議長へ調査報告書を提出しました。建設産業委員会は、12月定例会に提出する予定です。

なお、議会基本条例等調査特別委員会については、12月定例会において、委員長から視察内容について報告する予定です。

総務委員会(8月4日～6日)

防災対策について(千歳市)
市民参加の取組みについて(伊達市)

人づくり・まちづくり事業、まちづくり活動について(函館市)

建設産業委員会10月12日、14日

公園の再整備について(小樽市)
環境産業振興について(室蘭市)

観光基本計画について(函館市)
議会基本条例等調査特別委員会(10月8日)

議会基本条例について(所沢市)

編集後記

紅葉の候、皆様にはお変わりなくご活躍のことと存じました。9月定例会は24日に閉会しました。議会終了後、10月7日には、戦没者追悼式が挙行され、市長は、1370余柱の英霊に追悼の慰を表し、議長は、不戦の誓いと戦争の記憶が風化することなく次の世代に確実に語り継がなければならないと述べられました。被害と加害の両面から戦争について知り、知らせていくことが大切であると式に参列し改めて認識し、不戦を誓いました。

市議会だより第20号をお届けいたします。

委員長	岩崎 信裕
副委員長	柿沼 綾子
委員	小暮 ちえ子
堀口 伊代子	富田 雅寿
清水 達夫	清田 美津子
町田 和猛	高橋 美
小林	
議長	小高 林
副議長	